

令和 7 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立加島小学校 学校協議会

1 総括についての評価

今年度、残念ながら目標を達成できなかったものもあったが、学校が常に子どもたちのために様々な教育活動に取り組んだことは評価できる。「学校に行くのは楽しい」「いじめはどんな理由があってもいけない」と答える児童の割合が増え、今後も継続してもらいたい。スマートフォンやゲームをする時間を、スポーツや読書をする時間に充ててほしい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

- 令和 7 年度「小学校学力経年調査」の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、82%以上にする。
- 令和 7 年度の本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらい SMS、動画視聴、ゲーム等をしていきますか」に対して、「3 時間以上」と回答する児童の割合を 25%以下とする。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

- 令和 7 年度「小学校学力経年調査」における「学力に課題の見られる児童の割合」を、同一母集団で経年的に比較し、いずれの学年も、国語科・算数科ともに 1 ポイント減少させる。
- 令和 7 年度「全国体力・運動能力、運動習慣調査」において、体力合計点对全国の平均値を上回る割合 (1.00) 以上を継続する。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

- 令和 7 年度「小学校学力経年調査」の「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 66%以上にする。
- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は 82.8%であり目標の 82%を上回り、目標を達成することができた。引き続き、学校行事をはじめとした様々な取り組みを充実させ、学校の魅力を発信してほしい。
- ・スマートフォン等の使用時間を「3 時間以上」と回答する児童の割合は 44.5%と半数近い結果となった。学習時間の確保のためにも使う時間を減らしてほしい。
- ・経年調査の「学力に課題の見られる児童の割合」は、6 年生で減少したものの 4・5 年生で増加という結果となった。学力向上の取り組みを進め、学力の底上げをしてほしい。
- ・全国体力調査の体力合計点は、女子が全国平均を超え、男子も全国平均に迫る結果であった。好結果だったのはうれしいことであり、今後も体力向上に努めてほしい。
- ・「読書が好き」と肯定的に回答する児童は 62.8%と目標を下回った。学校で啓発活動を行っているが、なかなか定着しないのは大人も読書しないからではないか。

3 今後の学校園の運営についての意見

・学校は、様々な良い取り組みを進めていることを理解した。特に「学校が楽しい」や「いじめはどんな理由があってもしてはいけない。」と答える児童が増えたのはうれしいことである。是非今後も取り組みを続けていただくようお願いしたい。また、家庭訪問の再開については、顔を合わせて話すことが大事なので、賛成である。今後も保護者、地域と連携しながら子どもたちのために頑張ってもらいたい。